

今年度から会の最終議決機関が、総会から代議員会になりました。

東京都地方部会の会員数は、本年度は2名の増加です。新入会員は57名でした。

本年度は副部会長の交代がありました。加我君孝会長が、矢部多加夫(地区群)、堤剛(大学群)、松永達雄(病院群)、副部会長とともに運営にあたります。

幹事会を経て、6月8日の代議員会で承認された事項などをとりまとめてご報告いたします。

一、令和4年度報告事項

▼総務関係では、令和5年3月31日現在、会員数は、一八九一人(前年比2人増)で、その内訳は正会員数一八三〇人(大学群五五一、病院群二八七、地区群九六八、その他二四)、新入会員五七人。COVID-19の感染拡大防止のため諸会議をZOOM会議で行った。一部は会場で開催を行った。台48回総会(6月4日)・会場開催およびオンデマンド開催)、代議員会1回(5月19日)、幹事会2回(2月24日・4月28日)・ZOOM会議)、教授会議2回(7月28日・1月27日)・ZOOM会議)、部会長副部会長会議3回(1月13日・4月7日・7月14日)・ZOOM会議)、ブロック長会議1回(8月4日)・ZOOM会議)。地方部会会報(第87号、88号)を発行した。日耳鼻全国地方部会長会議(令和4年5月25日)・神戸)に出席、協議し

た。日耳鼻地方部会関東地区連絡協議会(令和4年6月12日、web会議)に出席、協議した。日耳鼻学会専門医制度にもとづく業務に全面的に協力した。日耳鼻学会よりのENTFAXに関して協議し、FAXは流さず、5月号に掲載した。第23回日耳鼻東京都地方部会医療研究会は2月18日に開催した。

▼学術部関係では、学術講演会4回のうち1回は会場ならびにweb開催、1回はweb開催、2回は会場開催した。

▼社会部保険医療委員会では、令和4年度保険医療委員会ワークショップおよび全国会議(令和5年1月28日)・ハイブリッド開催)に参加、日耳鼻保険医療実態調査(東京都92医療機関)・令和4年10月診療分)の結果を日耳鼻に提出した。

▼社会部学校保健委員会では、東京都耳鼻咽喉科医学会との共催で2回の委員会を開催した。第1回委員会(令和4年10月26日)での報告と協議事項は、令和4年度日耳鼻・臨床耳鼻科医学会学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会について、令和4年度日本医師会学校保健講習会について、第73回指定都市学校保健協議会「学校医研修会」について、令和4年度関東甲信越静学校医協議会について、第53回全国学校保健・学校医大会について、学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイ

ドラインの改定について、新型コロナウイルス感染症対策に係る予防接種の幼児児童生徒に対する実施についての学校等における考え方及び留意点等について、学校医の健康教育についてのアンケート調査について、起立性調節障害対応ガイドラインについて、であった。

第2回委員会(令和5年4月5日)では、令和4年度日耳鼻・臨床耳鼻科医学会学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会について報告された。令和5年度東京都耳鼻咽喉科学校保健委員会事業計画(案)について協議した。第53回全国学校保健学校医大会(令和4年11月12日)、令和4年度日耳鼻・臨床耳鼻科医学会学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会(令和4年1月30日)、令和5年度学校保健講習会(令和5年4月2日)に参加した。

▼社会部鼻の日委員会では、予定していた「鼻の日」開催を中止した。代替の行事として耳の日委員会と一緒にYouTubeでの日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東京都地方部会としての動画配信を行った。

▼社会部耳の日委員会では、「耳の日」補聴器・難聴無料相談会を中止した。代替の行事として鼻の日委員会と一緒にYouTubeでの日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会東京都地方部会としての動画配信を行った。

▼社会部福祉医療成人老年委員会では、第47回全国身体障害者福祉医療講習会・第27回補聴器キーパーソン全国会議に委員および補聴器キーパーソンが、(令和4年6月11日(土)、12日)・会場開催及びweb)にて参加した。日耳鼻補聴器相談医更新のための講習会をオンデマンド配信した(令和4年7月12日から7月26日まで)。

▼社会部福祉医療成人老年委員会では、令和4年度福祉医療委員会全国会議に委員を派遣した(令和5年1月28日)。補聴器適合に関する診療

情報提供書の普及を図った。

▼社会部福祉医療幼児委員会では、令和4年度3歳児健診における聴覚検査および1歳6か月健診における聞こえの確認方法に関するアンケート調査に協力した。新生児聴覚検査体制整備事業調査に東京都と協議して回答した。新生児聴覚検査連絡協議会に委員として参加した。難聴児の早期支援及び関係機関連携強化検討会に委員として参加した。日耳鼻より「新生児聴覚検査体制整備推進に関する担当者」の推薦依頼があり、本地方部会からは樫尾委員を推薦した。

▼社会部産業・環境保健委員会では、令和4年度環境保健委員会全国委員長会議(令和4年1月28日)・会場開催およびweb)に参加した。

▼社会部地域医療委員会では多摩地域耳鼻咽喉科(入院施設)意見交換会(令和4年7月6日・令和5年1月25日)web)に参加した。

▼企画調査部では、東京都地方部会のホームページメンテナンスを専門業者に委託して、適宜更新を行った。会員リストを維持し、新会員については本人の了解を得て追加掲載した。

▼専門医制度部では、令和4年度専門医認定試験願書を取りまとめ、日耳鼻に提出した。専門医認定更新対象者に更新の通知などの更新業務を行った。

▼経理部一般会計決算(繰越金を含まず)

収入二五、〇二四、八五九円
支出一三、四〇九、三五九円

二、令和5年度事業計画

▼総務部では、代議員会の決定に基づき、会務を処理する、会員の異動を的確に把握し、会務の運営の円滑化をはかる、地方部会会報を年2回発行し、会員相互の意志伝達をはかる、地方部会便り及びホームページにより、会員に必要な情報などを速やかに伝達する、全国調査、通常調査、専門医制度などに基づく日耳鼻学会の業務に協力する。第24回日耳鼻東京都地方部会医療研究会を令和5年度に開催する。

▼学術部では年4回の学術講演会を開催する。学術講演会のIT化を推進する。

▼社会部保険医療委員会では、日耳鼻地方部会関東地区連絡協議会に出席する、日耳鼻保険医療委員会全国協議会に出席する、日耳鼻保険医療委員会ワークショップ及び全国会議に出席する、日耳鼻保険医療実態調査に協力する、保険医療委員会を開催する、保険医療に関する情報を会員に伝達し、会員からの質問、要望に対応する、日耳鼻診療報酬改定伝達会議を受けて、点数改定説明会を開催する。

▼社会部学校保健委員会は、1) 日耳鼻・臨床耳鼻科医学会学校保健委員会が実施する耳鼻咽喉科学校健診の在り方につ

いての調査に協力する、児童生徒の健康教育の実践に努める、障害のある児童生徒への学校における合理的配慮を検討する、日耳鼻学校保健委員会作成の「学校保健での音声言語障害の検診法(改訂版)」に基づく音声言語障害検診の実施と、その適切な事後措置についての普及、啓発に努める、日耳鼻学校保健委員会作成の「耳鼻咽喉科健康診断マニュアル」の活用を啓発する、ヘッドホン・イヤホン難聴対策WGと連携し、児童生徒等に啓発活動を行う、学校医執務記録の提出を励行する、日耳鼻・臨床耳鼻科医学会学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会、日本医師会全国学校保健学校医大会および学校保健講習会、東京都医師会学校医研修会等に積極的に参加する。

▼社会部耳鼻咽喉科月間委員会(鼻の日委員会・耳の日委員会)では、令和5年(日程未定)に東京都地方部会令和5年度「耳の日」行事として「鼻の日」と共同でオンライン市民講演会を企画・開催する、新聞などでオンライン市民講演会の告知を行う、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会に「耳鼻咽喉科月間」企画行事の実施結果を報告する。

▼社会部頭頸部外科月間委員会では、東京都地方部会の頭頸部外科月間委員会を開催する、頭頸部外科月間期間中に市民公開セミナーおよび相談会を開催する、頭頸部癌に関する新規コンテン

ツを二つ作成し、地方部会のYouTubeチャンネルにて公開する。

▼社会部医事問題委員会は、第47回日耳鼻医事問題セミナーに委員を派遣する、令和5年度日耳鼻医事問題委員会ワークショップおよび全国会議に委員を派遣する、医療事故(紛争)の事例検討、医事問題委員会を開催する、第43回医事問題に関するアンケート調査(各支部、病院、大学単位・継続事業)を実施する。

▼社会部福祉医療成人老年委員会では、第48回全国身体障害者福祉医療講習会・第28回補聴器キーパーソン全国会議に委員および補聴器キーパーソンを派遣する(令和5年6月10日、11日)、令和5年度福祉医療委員会全国会議に委員を派遣する(令和6年1月27日)、日耳鼻学会東京都地方部会の耳鼻咽喉科月間に嚙下障害に関する動画をYouTube配信する。

▼社会部福祉医療乳幼児委員会では、新生児聴覚スクリーニングおよび乳幼児健診後の精密聴力検査、療育に至るまでの円滑なシステム作りを東京都および耳鼻咽喉科医学会と連携して検討する、3歳児健診における聴覚検査および1歳6カ月健診における聞こえの確認方法に関するアンケート調査に協力する。

▼社会部産業・環境保健委員会では、日耳鼻の産業環境保健委員長全国会議に出席する。必要に応じて東京都地方部

会の日耳鼻産業・環境保健委員会を開催する。日耳鼻産業・環境保健委員会の地域産業保健センター実施調査に協力する。

▼社会部地域医療委員会では、日耳鼻主催の産業・環境保健委員長全国会議に出席する、必要に応じて東京都地方部の産業・環境保健委員会を開催する、日耳鼻産業・環境保健委員会の地域産業保健センター実施調査に協力する。

▼企画調査部では、ホームページの多角的活用と経済的メンテナンスを行う。

▼専門医制度部では令和5年度専門医認定試験に関わる業務を行う。専門医認定更新に関する通知など更新業務を行う。専門医制度に関して日耳鼻と円滑な連携を行う。

▼令和5年度一般会計予算(繰越金を含む) 五一、〇五六、〇〇〇円

三、令和4年度逝去者
左記の方々が令和4年度中に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。
白坂邦洋(北多摩)、田中 順(豊島区)、部坂弘彦(豊島区)、吉川尚文(調布市)、吉見充徳(世田谷区)

令和5年7月8日(土) 240回 担当 慈恵会医科大学
令和5年11月25日(土) 241回 担当 杏林大学
令和6年3月9日(土) 242回例会 会場 Meiji Seikaファルマ株式会社ビル 担当 JR東京総合病院
令和5年度学術講演会予定 会場 Meiji Seikaファルマ株式会社ビル

五、日耳鼻総会・学術講演会予定
第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・学術講演会 (令和6年5月15日～5月18日) 会場 大阪国際会議場(大阪市)
第37回日耳鼻秋季大会 (令和5年11月18日(土)・19日(日)) 会場 パシフィコ横浜 会議センター
詳細は日耳鼻会報5号、および <http://www.congre.co.jp/shukitai37/index.html> を御参照下さい。

六、日耳鼻秋季大会予定
第37回日耳鼻秋季大会 (令和5年11月18日(土)・19日(日)) 会場 パシフィコ横浜 会議センター
詳細は日耳鼻会報5号、および <http://www.congre.co.jp/shukitai37/index.html> を御参照下さい。

TEL 〇三三三三五六―三三八七
FAX 〇三三三三五六―三三八九
〒101-0041 千代田区神田東松山下町1-1
トナカイ神田タワービル8階

四、令和5年度学術講演会予定
7月以降の学術講演会は左記の通りです。
一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 東京都地方部会 総務部広報係 矢野 純